

株主メモ

事業年度 6月1日～翌年5月31日
定時株主総会 8月
基準日 5月31日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送先)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
電話:0120-232-711 (通話料無料)
公告の方法 電子公告の方法によります。ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <https://www.pharmarise.com/>
証券コード 2796(東証スタンダード)

株主優待のご案内

株主様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に当社株式を保有していただくこと、並びに当社グループの事業に対するご理解をより深めていただくことを目的として、株主優待を行っています。

令和5年11月期末基準(令和6年5月期)株主優待品

対象株主 令和5年(2023年)11月30日時点で、当社株式を1単位(100株)以上、1年以上保有されている株主様
優待の内容 ①～③の中からおひとつ選択
①薬用ハミガキ粉「デンタルポリスDX」2本
②うるおい保湿液「Pharmal」ポンプタイプ150ml・1本
③当社商品券2,500円分(500円券×5枚)
贈呈時期 令和6年3月下旬～6月初旬ごろ(予定)



株主通信 令和6年5月期 第2四半期



ニャーマライズ先輩

To Our Shareholders

新たなパートナーを迎えて

——地域医療への貢献と薬局の機能性・専門性を追求——

Top Interview

力強く成長する経営基盤を構築し、
調剤薬局事業の強化、物販事業の拡大を推し進めます

グループ体系

Topics: 株式会社スズケンとの資本業務提携ほか

四半期連結財務諸表

会社概要

株主メモ・株主優待のご案内



ファーマライズホールディングス株式会社

〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル
TEL 03-3362-7130 FAX 03-3362-7190

<https://www.pharmarise.com/>

証券コード 2796

新たなパートナーを迎えて

——地域医療への貢献と薬局の機能性・専門性を追求——



代表取締役会長
大野 利美知

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
当第2四半期連結累計期間(令和5年6月1日～11月30日)におけるわが国経済は、デフレ脱却の正念場といえる状況にあります。新型コロナウイルス感染症やウクライナ危機等の影響による世界的な物価高騰を機に、企業の価格転嫁の進展は、40年ぶりの物価上昇に繋がりました。一方、個人所得や投資の伸び悩みは、経済成長の抑制と消費者の購買力減少の要因となりうることから、新しい企業の在り方が問われております。

こうしたなか、当社グループは令和3年12月24日に「中期経営計画 LSG (Leading to Sustainable Growth) 2024」を公表し、株主価値の更なる向上を目指し、競争力を強化し成長していくため、①投資家に選ばれる会社になるための取り組み強化、②調剤事業を核とした事業展開による収益獲得強化、③経営基盤の更なる強化による収益構造の改善、を推進しております。

当社グループは、既存の成長戦略に加え、一層の成長を目指すことを目的に、新たに㈱スズケンと資本業務提携をいたしました。これまでファンド会社が保有していた当社株式等を㈱スズケンが保有することで、同社と共に薬局ビジネスの新しい形を築いてまいります。

また、当社グループは、継続的な各種取り組みを通した予防医療を推進・普及することで、「地域医療」や「サステナブルな社会の構築」に貢献していきます。令和3年8月1日施行の薬機法改正において導入された「地域連携薬局」及び「専門医療機関連携薬局」への取り組みと、法改正においても強く求められている薬局の機能性・専門性を今後も推進し、安定した経営に繋げてまいります。

これらの施策は、当社グループの更なる発展に寄与していくものと考えております。株主の皆様には、引き続き変わらぬご高配を賜りますよう心からお願い申し上げます。

力強く成長する経営基盤を構築し、 調剤薬局事業の強化、物販事業の拡大を推し進めます

代表取締役社長 秋山 昌之



Q. 当四半期(令和5年6月1日～11月30日)の業績について教えてください。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高26,948百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益710百万円(同23.9%増)、経常利益701百万円(同23.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は273百万円(同276.6%増)となりました。

主事業である調剤薬局事業は、M&Aや新規出店効果に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による受診抑制の緩和を主な要因とした処方せん枚数の回復、調剤技術料の算定増加等により、売上高は21,876百万円(前年同期比4.5%増)と増収、セグメント利益は831百万円(前年同期比11.6%増)と増益になりました。物販事業においても、新型コロナウイルス感染症の影響緩和による経済活動の回復を背景としたコンビニエンスストア部門・ドラッグストア部門の売上高伸長により、売上高は4,127百万円(前年同期比7.0%増)となりました。セグメント損失は38百万円(前年同期はセグメント損失129百万円)となり、前年同期比で90百万円セグメント損失が縮小いたしました。

Q. 通期(令和5年6月1日～令和6年5月31日)の業績予想について教えてください。

売上高につきましては、当第2四半期連結累計期間において主力事業の調剤薬局事業で処方せん単価の低下がみられるものの応需枚数は増加したこともあり、当初計画を上回る水準となっており、概ね計画どおりに推移しています。一方、営業利益及び経常利益については、調剤薬局事業において技術料の算定が想定を上回る水準で推移しており、また物販事業の好調さにも支えられ、計画を上回っております。

通期連結業績としては、売上高53,546百万円(前期比2.9%増)、営業利益1,477百万円(同2.7%増)、経常利益1,423百万円(同0.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益449百万円(同34.9%増)を予想しておりますが、予想数値の超過を目指して全力を尽くす所存であります。

Q. 調剤薬局のDX化について教えてください。

当社グループは以前より、地域に密着した「かかりつけ薬局」を追求し、地域医療に貢献することを目指してまいりました。これまでも患者情報の一元管理や重複投与、飲み合わせ、残薬確認を強化することを目的に、電子お薬手帳「ポケットファーマシー(PP)」の利用促進に取り組んでまいりました。最近ではPPによる処方せん送信サービスに加え、全国で利用者の多い「LINE」による処方せん送信サービスを新たに開始し、利便性を向上させております。また、将来の電子処方せんの普及を見据えて、PPへの電子処方せん対応機能の追加や、オンライン服薬指導サービス「ポケットミーティング」への電子決済機能の追加などにも取り組んでおります。

グループ店舗数※の状況

※連結子会社の店舗数合計

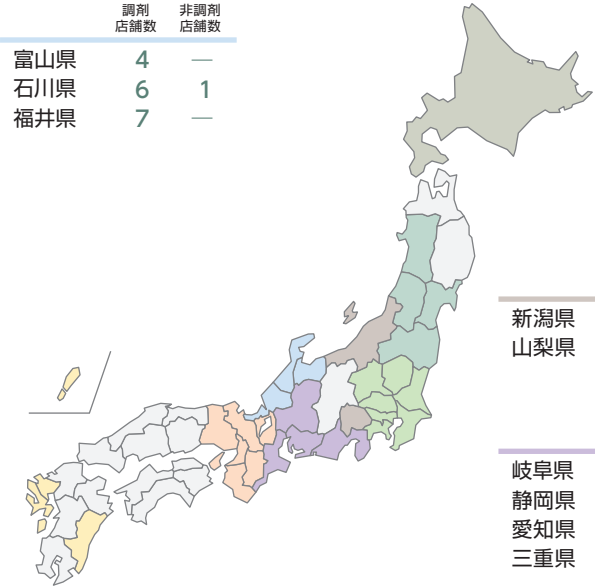
■グループ体系(令和5年11月末現在)

連結子会社	調剤店舗数	非調剤店舗数
ファーマライズ株式会社	219	50
株式会社寿データバンク	—	—
株式会社ミュートス	—	—
株式会社ケミスト	5	—
株式会社レイケアセンター	—	—
株式会社メディカルフロント	—	—
株式会社ヘルシーワーク	29	—
株式会社ウィーク	—	—
株式会社サン・メディカル	6	—
北海道ファーマライズ株式会社	42	—
三協医療薬品株式会社	3	—
有限会社ミット	6	—
合 計	360店舗	310 50

■都道府県別出店状況(令和5年11月末現在)

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
滋賀県	2	—
京都府	7	4
大阪府	45	18
兵庫県	17	—
奈良県	4	—
和歌山県	4	—

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
長崎県	5	—
宮崎県	1	—
沖縄県	7	—



	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
富山県	4	—
石川県	6	1
福井県	7	—

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
新潟県	20	—
山梨県	1	—

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
岐阜県	2	—
静岡県	13	1
愛知県	14	1
三重県	11	—

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
北海道	42	1

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
宮城県	10	—
秋田県	2	—
山形県	1	—
福島県	12	1

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
茨城県	4	—
栃木県	2	—
群馬県	7	—
埼玉県	7	—
千葉県	6	3
東京都	36	15
神奈川県	11	5

■新規出店・M&Aによる規模の拡大

店舗形態	R5年5月末 店舗数	新規開局・ 開店	M&A・ 事業譲受	閉局・閉店・ 売却	R5年11月末 店舗数
調剤薬局店舗	300	3	9	2	310
非調剤店舗 (ドラッグストア等)	50	1		1	50
合 計	350				360

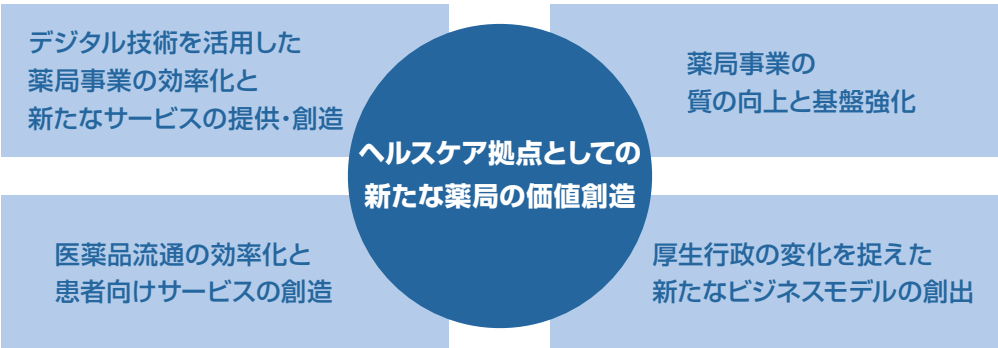
TOPICS

株式会社スズケンとの資本業務提携

今回の(株)スズケンとの新たな取り組みによる効果として、更なる成長へのステップを加速してまいります。

医療及び医薬品産業、保険薬局の事業環境は、医療費抑制のための様々な施策が推進され、加えて規制緩和の推進、異業種の参入、デジタル化の進展など、想定を超えるスピードで大きく変化しているものと認識しております。当社としても、この環境の変化に適応していくためには、両社の機能やサービスを機能総体という発想で組み合わせ、より利便性の高いサービスの提供や新しい価値の創出に向けた

検討および取り組みを進めていく必要があると考えております。この取り組みを具体的に進めていくにはこれまで積み重ねてきた知識やノウハウを相互に活用し、両社の信頼関係を高めていく必要があるとの認識に至り、資本参加を含む業務提携契約の締結に合意いたしました。当社グループとスズケングループの経営資源やノウハウを組み合わせ、双方の強みや機能を融合させることで、共に社会課題を解決する新たな付加価値の創造を目指してまいります。



開局・出店13店舗(連結ベース)

令和6年5月期上半期(令和5年6月1日～ 11月30日)は、右記の通り調剤薬局12店舗、コンビニエンスストア1店舗を開局・出店いたしました。

調剤薬局店舗	非調剤店舗(ドラッグストア等)
6月 神穂店(茨城)	11月 ファミリーマート 中野鍋屋横丁店(東京)
7月 武蔵小杉店(神奈川)	
9月 1店舗(福島)※取得 3店舗(東京)※取得 5店舗(新潟)※取得	
10月 HEP NAVIO店(大阪)	

四半期連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 (令和5年11月30日現在)	前期末 (令和5年5月31日現在)
資産の部		
流動資産	10,875	11,372
固定資産	12,090	12,048
有形固定資産	6,098	6,010
無形固定資産	3,133	3,250
投資その他の資産	2,858	2,787
繰延資産	—	0
資産合計	22,966	23,421
負債の部		
流動負債	8,241	9,835
固定負債	6,333	6,598
負債合計	14,574	16,433
純資産の部		
株主資本	8,084	6,655
資本金	1,961	1,298
資本剰余金	2,177	1,553
利益剰余金	4,156	4,014
自己株式	△210	△210
その他の包括利益累計額	19	17
新株予約権	208	208
非支配株主持分	79	105
純資産合計	8,391	6,987
負債純資産合計	22,966	23,421

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 (令和5年6月1日から令和5年11月30日まで)	前第2四半期累計 (令和4年6月1日から令和4年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,860	1,553
投資活動によるキャッシュ・フロー	△543	△448
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,128	△792
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	188	312
現金及び現金同等物の期首残高	4,734	3,991
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,923	4,303

■ 四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 (令和5年6月1日から令和5年11月30日まで)	前第2四半期累計 (令和4年6月1日から令和4年11月30日まで)
売上高	26,948	25,745
売上原価	22,677	21,759
売上総利益	4,270	3,986
販売費及び一般管理費	3,560	3,412
営業利益	710	573
営業外収益	28	35
営業外費用	37	42
経常利益	701	566
特別利益	37	42
特別損失	77	213
税金等調整前四半期純利益	662	394
法人税等	379	317
四半期純利益	282	77
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	273	72

会社概要

■ 会社概要(令和5年11月30日現在)

設 立	昭和59年6月
社 名	ファーマライズホールディングス株式会社
資本金	1,961百万円
本店所在地	東京都中野区中央一丁目38番1号
主な事業内容	持株会社(調剤薬局事業などを営むグループ会社を統括する管理運営会社)
ホームページ	https://www.pharmarise.com/
主要取引銀行	株式会社みずほ銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社横浜銀行 他
連結従業員数	1,872名(非常勤含む)

■ 役 員(令和5年11月30日現在)

代表取締役会長	大 野 利美知
取締役副会長	大 野 小夜子
代表取締役社長	秋 山 昌 之
専務取締役	松 浦 恵 子
取締役	沼 田 豊
取締役	菅 野 洋
取締役(社外)	多 田 宏
取締役(社外)	渡 邊 則 夫
取締役(社外)	戸 田 一 誠
常勤監査役	小 高 芳 夫
監査役(社外)	榎 本 孝 之
監査役(社外)	園 部 経 夫

■ 株式の状況(令和5年11月30日現在)

発行可能株式総数	31,398,000株
発行済株式総数	12,060,381株
株主数	14,735名

■ 大株主の状況(令和5年11月30日現在)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
株式会社ビックフィールド	3,015,000	25.7
株式会社スズケン	2,346,600	20.0
大野 小夜子	417,380	3.6
中北薬品株式会社	396,000	3.4
株式会社バイタルネット	396,000	3.4
株式会社ほくやく	396,000	3.4
ファーマライズ従業員持株会	379,200	3.2
大野 利美知	296,560	2.5
ヒグチ産業株式会社	214,500	1.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	178,000	1.5

(注)持株比率は、自己株式(321,100株)を控除して計算し、小数点第1位未満を四捨五入して表示しております。

■ 主要仕入先

アルフレッサ株式会社	中北薬品株式会社	
岩淵薬品株式会社	株式会社バイタルネット	
株式会社スズケン	株式会社ほくやく	他

■ 主要な連結子会社(令和5年11月30日現在)

名 称	住 所	事業内容
ファーマライズ株式会社	東京都中野区	
株式会社ケミスト	長崎県諫早市	
株式会社ヘルシーワーク	大阪府大阪市	
株式会社サン・メディカル	神奈川県茅ヶ崎市	調剤薬局事業
北海道ファーマライズ株式会社	北海道札幌市	
三協医療薬品株式会社	東京都中野区	
有限会社ミット	新潟県新発田市	
株式会社寿データバンク	栃木県足利市	医学資料保管・管理事業
株式会社ミュートス	大阪府大阪市	製薬企業等向けシステムインテグレーション事業
株式会社レイケアセンター	大阪府大阪市	人材派遣事業
株式会社メディカルフロント	東京都新宿区	医療関連ITソリューション事業
株式会社ウィーク	東京都文京区	有料職業紹介事業